

～広島県独自～

## 新型コロナ医療ひっ迫注意報・警報基準を新設しました！

新型コロナウイルス感染症においては、流行時の医療への負荷が主たる課題の一つであり、今後、感染が拡大したとしても、医療提供体制を確保するためには、早期に、県民への注意喚起や医療機関等への呼びかけを行うことが重要です。

このため、新たに、新型コロナ医療ひっ迫注意報・警報の県基準を設定し、適時、注意喚起等に活用することとしましたのでお知らせします。

区分		基準	考え方
注意報	発令	いずれかの保健所管内で <b>定点医療機関当たり報告患者数が8人以上</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去最大の入院患者数（第8波：635人）の5割（ピークの3週間前）相当</li> <li>⇒ 特に医療機関等に対し、必要な準備について協力依頼</li> </ul>
	解除	全ての保健所管内で <b>定点当たり報告患者数が8人未満</b>	
警報	発令	いずれかの保健所管内で <b>定点医療機関当たり報告患者数が13人以上</b> 又は <b>1医療機関当たり広島県新型コロナウイルス感染症版 J-SPEED<sup>※1</sup> 中等症以上の入院患者数が4以上</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去最大の入院患者数の8割相当（R4.12.16医療非常事態警報発令時）</li> <li>重症病床の使用率30%（確保病床制度<sup>※2</sup>下の緊急フェーズ移行ポイント）相当</li> <li>⇒ 特に県民に対し、医療負荷状況と基本的感染対策の徹底を注意喚起</li> </ul>
	解除	全ての保健所管内で <b>定点当たり報告患者数が8人未満</b> かつ <b>1医療機関当たり広島県新型コロナウイルス感染症版 J-SPEED<sup>※1</sup> 中等症以上の入院患者数が2未満</b>	

※1 広島大学によって開発されたサーベイランスシステムで、J-SPEED 報告協力医療機関が入力した新型コロナウイルス感染症入院患者の重症度、治療内容、転帰等のデータを収集・分析。

※2 令和6年3月末まで実施されていた、感染状況に応じて、新型コロナウイルス感染症患者向けの病床数を増減させる制度。感染状況に応じた段階的な病床準備を行う一般フェーズと、感染拡大が急速に起こっている場合の緊急フェーズが設定されていた。

### 注意報・警報発令時の注意喚起等の内容

<県民向け>

- 発熱等の体調不良時は不要不急の外出を控えること
- 手洗いや換気などの基本的な感染対策
- マスク着用推奨場面（医療機関や高齢者施設等の訪問時）でのマスク着用の徹底
- 軽症時は自宅療養し、検査や診断書発行等のための救急受診を控えること

＜医療機関等向け＞

- ・ 地域における医療機関の役割に応じた受入れを行うこと
- ・ 入院患者が新型コロナに感染した場合に、転院させず、継続的に診療を行うこと
- ・ 高齢者施設等における療養体制を確保すること

**県内の流行状況【令和6年第26週（6月24日～6月30日）】**

保健所名	県保健所				広島市	呉市	福山市	県内計
	西部	西部東	東部	北部				
定点当たり報告患者数（人）	3.56	4.40	3.20	2.50	3.29	2.94	4.94	3.58
報告患者数（人）	57	44	48	15	115	47	89	415
定点医療機関数	16	10	15	6	35	16	18	116

**1 医療機関当たり広島県新型コロナウイルス感染症版 J-SPEED 中等症以上の入院患者数**

区分	週報報告日（毎週金曜日に直近7日のデータを報告）			
	6月7日	6月14日	6月21日	6月28日
1 医療機関当たり報告患者数（人）	0.86	0.00	2.00	2.17
中等症以上の入院患者数（人）	6	0	10	13
J-SPEED 報告協力医療機関数	7	6	5	6

■ 詳しい状況は、次のホームページをご覧ください。

○新型コロナウイルス感染症の流行状況

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-kansen-corona-zyouhou-inf-zyouhou.html>